

第36回日本眼科学会専門医認定試験・  
第3回日本専門医機構眼科専門医認定試験問題(2024)

**The 36th Board Examination for Specialist  
in Japanese Ophthalmological Society・  
The 3rd Examination for Board-Certified Doctor of  
Ophthalmology in Japanese Medical Specialty Board (2024)**

## 一般問題 100 問(解答時間 2 時間)

- 1 核上性眼球運動に**関与しない**のはどれか。  
 a Cajal 間質核                      b 舌下神経前位核      c Edinger-Westphal 核  
 d PPRF(傍正中橋網様体)      e riMLF(内側縦束吻側間質核)
- 2 硝子体の加齢変化の**関与が少ない**のはどれか。  
 a 生理的飛蚊症                      b 近視性網膜分離      c 特発性黄斑円孔  
 d 裂孔原性網膜剝離      e 視神経乳頭周囲ぶどう腫
- 3 視神経で正しいのはどれか。  
 a 篩状板後方で有髄神経になる。                      b 篩状板の周辺部はくも膜に接着する。  
 c 耳鼻側の篩状板孔は上下側より大きい。      d 篩状板部は網膜中心動脈により栄養される。  
 e 篩状板は数百層の結合組織のシートから構成される。
- 4 房水の産生と排出で正しいのはどれか。2つ選べ。  
 a 房水は毛様体色素上皮から産生される。                      b 房水産生には概日リズムが影響している。  
 c 上強膜静脈圧が高いと房水流出は減少する。      d 房水はぶどう膜強膜流出路から主に排出される。  
 e 交感神経β受容体刺激によって房水産生が抑制される。
- 5 アトロピン硫酸塩水和物点眼薬で正しいのはどれか。  
 a 瞳孔括約筋を収縮させる。                      b 交感神経ブロック作用を持つ。  
 c 副作用として血圧低下がみられる。      d 瞳孔散大効果は3日以内に消失する。  
 e 調節麻痺は散瞳にやや遅れて発現する。
- 6 神経外胚葉由来の眼組織はどれか。2つ選べ。  
 a 水晶体      b 脈絡膜      c 毛様体筋      d 感覚網膜      e 網膜色素上皮
- 7 網膜色素上皮細胞の機能障害を反映する検査所見はどれか。  
 a EOG: Arden 比低下                      b フラッシュ ERG: OP 波消失      c 限界フリッカ値(CFF): 低下  
 d パターン VEP: P100 潜時延長      e 暗順応検査: Kohlrausch 屈曲点検出
- 8 脈絡膜を構成する組織を網膜側から強膜側へ正しく並べたのはどれか。  
 a Bruch 膜—脈絡毛細血管板—上脈絡膜—血管層      b Bruch 膜—上脈絡膜—血管層—脈絡毛細血管板  
 c Bruch 膜—脈絡毛細血管板—血管層—上脈絡膜      d Bruch 膜—上脈絡膜—脈絡毛細血管板—血管層  
 e Bruch 膜—血管層—脈絡毛細血管板—上脈絡膜
- 9 眼圧と眼圧検査で正しいのはどれか。2つ選べ。  
 a 眼圧の単位は mmHg である。                      b 仰臥位では座位よりも眼圧は高値となる。  
 c 健常者では1日を通してほぼ一定の値である。      d 角膜厚が薄いほど眼圧測定値は高値になりやすい。  
 e 非接触型眼圧計は1回の測定で正確な眼圧値が得られる。
- 10 5 m 離れて視力検査した場合、視力 1.0 に相当する Landolt 環の切れ目の幅(mm)はどれか。  
 a 1.0      b 1.5      c 2.0      d 3.0      e 7.5

- 11 眼底画像検査で正しいのはどれか。2つ選べ。
- a OCTの解像度は最高で100 $\mu$ mである。
  - b OCTAでは層別血流評価が可能である。
  - c 眼底自発蛍光撮影では網膜色素上皮細胞死は過蛍光となる。
  - d インドシアニングリーン蛍光眼底造影には短波長光を用いる。
  - e フルオレセイン蛍光眼底造影では血液網膜関門の評価が可能である。
- 12 外眼筋の中で対側の神経核から交差支配を受ける筋はどれか。2つ選べ。
- a 上直筋    b 外直筋    c 内直筋    d 下直筋    e 上斜筋
- 13 「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」で求められている倫理審査委員会の構成要件で誤っているのはどれか。
- a 5名以上であること。
  - b 男女両性で構成されていること。
  - c 委員長は自然科学の有識者であること。
  - d 人文・社会科学の有識者が含まれていること。
  - e 一般の立場から意見を述べることのできる者が含まれていること。
- 14 入院診療計画書作成に関与する必要があるのはどれか。3つ選べ。
- a 医師    b 看護師    c 管理者    d 管理栄養士    e ケースワーカー
- 15 身体障害者診断書・意見書で正しいのはどれか。
- a 視力0.15は0.1として計算する。
  - b 視野障害は単独で1級認定となり得る。
  - c 視力障害は左右各眼の矯正視力の和で評価する。
  - d 視力障害と視野障害の両方に該当する場合は高い方の等級が適用される。
  - e 一眼の視力が0.02のとき他眼の視力が0.7以下であれば、身体障害者手帳の交付が可能である。
- 16 角膜ドナーの適応にならないのはどれか。
- a 白血病    b Parkinson病    c Alzheimer病    d 多発性硬化症    e 95歳の白内障手術後
- 17 特定健診・特定保健指導の必須項目はどれか。3つ選べ。
- a 血糖検査    b 眼底検査    c 心電図検査    d 肝機能検査    e 腹囲の測定
- 18 電離放射線障害防止規則第56条に規定する健康診断の項目に基づき実施すべきなのはどれか。
- a 眼圧に関する検査    b 白内障に関する検査    c 網膜疾患に関する検査
  - d 視神経疾患に関する検査    e 視力・色覚に関する検査
- 19 優れたスクリーニング検査の条件はどれか。2つ選べ。
- a 高い感度    b 高い特異度    c 高い偽陽性率    d 高い偽陰性率    e 高い陽性的中率
- 20 特定臨床研究法に該当する研究はどれか。2つ選べ。
- a ヒトゲノムを含む臨床研究
  - b 未承認の薬剤の有効性を調査した臨床研究
  - c 製薬企業等から資金提供を受けて行った臨床研究
  - d 承認済み薬剤の有効性を比較検討した二重盲検試験
  - e 地域住民の疾患の有病率を調査した疫学研究 (population—based study)
- 21 矯正視力が右1.2, 左0.08の時、普通自動車第一種運転免許に必要な右眼視野の要件はどれか。
- a 左右120°以上    b 左右135°以上    c 左右150°以上    d 左右165°以上    e 左右180°以上

- 22 涙腺と涙液で正しいのはどれか。  
 a 副涙腺は Zeis 腺と Moll 腺である。 b 主涙腺は眼窩の上鼻側に位置する。  
 c 主涙腺の眼瞼葉は眼窩葉よりも大きい。 d 角膜上の涙液の水層は油層よりも表層側にある。  
 e 涙液は三叉神経第 1 枝の刺激によって分泌される。
- 23 涙道疾患で正しいのはどれか。  
 a 薬剤性涙道閉塞は鼻涙管閉塞が多い。 b 先天涙道閉塞では総涙小管閉塞が多い。  
 c 涙小管炎では涙道内視鏡検査は禁忌である。 d 慢性涙嚢炎は涙嚢鼻腔吻合術の良い適応である。  
 e 急性涙嚢炎では直ちに涙管チューブ挿入術を施行する。
- 24 新生児において多量の膿性眼脂を来す結膜炎の病因微生物はどれか。2つ選べ。  
 a 淋菌 b 肺炎球菌 c クラミジア d アデノウイルス e 単純ヘルペスウイルス
- 25 副腎皮質ステロイドの投与経路で眼圧上昇の影響が最も少ないのはどれか。  
 a 点眼 b 点鼻 c 内服 d テノン嚢下注射 e 眼瞼への軟膏塗布
- 26 アトピー角結膜炎で誤っているのはどれか。  
 a 角膜知覚の低下を認める。 b 慢性期には角膜新生血管を認める。  
 c 両眼性の角膜ヘルペスを合併する。 d 急性・増悪期には巨大乳頭を呈する。  
 e 慢性期には結膜上皮の扁平上皮化生・杯細胞の減少を認める。
- 27 両眼に渦状の角膜混濁がある症例に関連するのはどれか。2つ選べ。  
 a 喫煙歴 b 家族歴 c 使用薬剤 d 海外渡航歴 e 膠原病の既往
- 28 強膜炎で誤っているのはどれか。  
 a 充血部位の圧痛がある。 b 充血が目立たないタイプがある。  
 c 内服薬により強膜炎が誘発されることがある。 d 感染性疾患は強膜炎の原因として除外できる。  
 e 全身性エリテマトーデスは強膜炎のリスク因子である。
- 29 角膜血管新生の原因とならないのはどれか。  
 a 無虹彩症 b 角膜ヘルペス c 流行性角結膜炎 d 角膜フリクテン e 角膜手術の縫合糸
- 30 角膜神経で正しいのはどれか。  
 a Aβ線維からなる。 b 主に顔面神経支配を受ける。  
 c 角膜上皮下に神経叢を形成する。 d 一度障害を受けると再生しない。  
 e 神経密度は皮膚と同程度である。
- 31 糖尿病で生じる水晶体の変化で正しいのはどれか。2つ選べ。  
 a ソルビトールが減少する。 b 酸化ストレスが上昇する。  
 c 水溶性蛋白質の含量が増加する。 d 前嚢下白内障の発症が特徴的である。  
 e 急激な血糖上昇は水晶体厚が変化する。
- 32 水晶体偏位を合併する全身疾患はどれか。3つ選べ。  
 a Alport 症候群 b Marfan 症候群 c Werner 症候群  
 d ホモシスチン尿症 e Weill-Marchesani 症候群
- 33 網膜血管炎を生じにくいのはどれか。  
 a Behçet 病 b 急性網膜壊死 c サルコイドーシス  
 d Vogt-小柳-原田病 e サイトメガロウイルス網膜炎

- 34 網膜色素上皮下の黄白色病変を伴うのはどれか。2つ選べ。  
a 軟性白斑                      b 急性網膜壊死              c 軟性ドルーゼン  
d 眼内悪性リンパ腫            e 卵黄様黄斑ジストロフィ
- 35 網膜ひだ形成の原因とならないのはどれか。  
a 未熟児網膜症                      b 眼トキソカラ症              c 硝子体血管系遺残(PFV)  
d 先天黒内障(Leber 先天盲)        e 家族性滲出性硝子体網膜症(FEVR)
- 36 点状脈絡膜内層症(PIC)で正しいのはどれか。  
a 男性に多い。                      b 黄白色斑がみられる。              c 視野異常は起こらない。  
d 50歳以上で起こりやすい。        e 前房に炎症細胞がみられる。
- 37 血管腫を来すのはどれか。2つ選べ。  
a Louis-Bar 症候群                      b von Hippel-Lindau 病              c Sturge-Weber 症候群  
d von Recklinghausen 病              e Bourneville-Pringle 病
- 38 糖尿病黄斑浮腫の治療薬はどれか。3つ選べ。  
a faricimab    b infliximab    c adalimumab    d ranibizumab    e brolicizumab
- 39 高安動脈炎で頻度の高いのはどれか。2つ選べ。  
a 角膜潰瘍    b 網膜裂孔    c 眼球突出    d 花環状吻合    e 毛細血管瘤
- 40 未熟児網膜症に対する抗VEGF薬硝子体内注射を行う場合、輪部から針の刺入部までの適切な距離(mm)はどれか。  
a 0~0.5    b 1.0~1.5    c 2.0~2.5    d 3.0~3.5    e 4.0~4.5
- 41 未熟児網膜症に対する抗VEGF薬硝子体内注射を3週前に行い、病勢の沈静化が得られたが、再燃しているのが確認された。  
適切な対応はどれか。  
a 経過観察    b 網膜光凝固    c 硝子体手術  
d 強膜内陥術    e 抗VEGF薬硝子体内注射(再投与)
- 42 網膜色素変性に合併した白内障に対する手術後に比較的高頻度に認められる合併症はどれか。2つ選べ。  
a 前囊収縮                      b 嚢胞様黄斑浮腫              c 裂孔原性網膜剝離  
d 網膜中心静脈閉塞症        e 中心性漿液性脈絡網膜症
- 43 黄斑前膜の自覚症状で多くみられるのはどれか。2つ選べ。  
a 物が歪んで見える。              b 物が小さく見える。              c 物が大きく見える。  
d 物が二重に見える。              e 物が中心に引き込まれるように見える。
- 44 網膜色素上皮裂孔が生じるのはどれか。  
a 妊娠高血圧症候群              b 孤立性脈絡膜血管腫  
c 滲出型加齢黄斑変性              d 急性帯状潜在性網膜外層症(AZoor)  
e 多発性後極部網膜色素上皮症(MPPE)
- 45 副腎皮質ステロイドの合併症はどれか。  
a 点状脈絡膜内層症(PIC)              b 多発消失性白点症候群(MEWDS)  
c 急性帯状潜在性網膜外層症(AZoor)    d 多発性後極部網膜色素上皮症(MPPE)  
e 急性後部多発性斑状色素上皮症(APMPPE)

- 46 von Hippel-Lindau 病で正しいのはどれか。2つ選べ。  
 a 両眼性が多い。 b 非遺伝性疾患である。  
 c 裂孔原性網膜剥離を来す。 d 神経皮膚症候群の1つである。  
 e 小脳や網膜に血管腫を認める。
- 47 黄斑部毛細血管拡張症で正しいのはどれか。  
 a Type 1 は女性に多い。 b Type 1 は網膜光凝固が第一選択である。  
 c Type 2 は片眼性が多い。 d Type 2 は病初期から網膜膨化がみられる。  
 e Type 2 は抗 VEGF 薬硝子体内注射が第一選択である。
- 48 病的近視の代表的黄斑合併症でないのはどれか。  
 a 黄斑出血 b 網膜剥離 c 網膜分離 d 脈絡膜新生血管 e 網膜色素上皮剥離
- 49 黄斑ジストロフィと診断されるのはどれか。2つ選べ。  
 a Stargardt 病 b 萎縮型加齢黄斑変性 c 近視性網脈絡膜萎縮  
 d 黄斑部毛細血管拡張症 e X連鎖性若年網膜分離症
- 50 組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。  
 a Blau 症候群———眼瞼下垂  
 b Usher 症候群———網膜色素変性  
 c Scheie 症候群———角膜混濁  
 d Hurler 症候群———網膜色素変性  
 e Marfan 症候群———円錐角膜
- 51 我が国における内因性細菌性眼内炎の主な起炎菌はどれか。2つ選べ。  
 a *Bacillus* spp. b *Escherichia coli* c *Klebsiella pneumoniae*  
 d *Staphylococcus aureus* e coagulase-negative *Staphylococci*
- 52 結核に伴う眼所見で誤っているのはどれか。  
 a 強膜炎 b 虹彩萎縮 c 網膜出血 d 軟性白斑 e 脈絡膜結節
- 53 梅毒性ぶどう膜炎で誤っているのはどれか。  
 a 視神経炎を来す。 b 網膜血管炎を来す。  
 c 近年増加傾向にある。 d 後極部円板状滲出斑を来す。  
 e トレポネーマ抗体検査には生物学的偽陽性がある。
- 54 Marfan 症候群の特徴で正しいのはどれか。2つ選べ。  
 a 近視 b 口蓋裂 c 角膜肥厚 d 高次収差増加 e 常染色体潜性遺伝(劣性遺伝)
- 55 ミトコンドリア遺伝子異常はどれか。2つ選べ。  
 a Stickler 症候群 b Leber 遺伝性視神経症 c 慢性進行性外眼筋麻痺  
 d 顆粒状角膜ジストロフィ e Bloch-Sulzberger 症候群
- 56 乱視を軽減する方法で正しいのはどれか。  
 a 倒乱視の角膜の白内障手術を上方切開で行った。  
 b 全層角膜移植後、直乱視の強い角膜に12時方向の縫合を加えた。  
 c 深部層状角膜移植(DALK)術後の倒乱視に白内障手術を上方切開で行った。  
 d 側方切開の角膜内皮移植術後に直乱視が強かったので主創口の抜糸をした。  
 e 単結紮による全層角膜移植後に倒乱視が強かったので水平方向の抜糸をした。

- 57 調節ラグが小さくなるのはどれか。  
a 老視    b 近見内斜視    c 矯正視力不良    d 近視過矯正眼鏡    e 累進屈折力眼鏡
- 58 1.00 D の乱視を完全矯正する円柱レンズの軸を  $30^\circ$  シフトさせたとき、残余乱視の度数(D)はどれか。  
a 0.25    b 0.33    c 0.50    d 0.67    e 1.00
- 59 検査距離 50 cm で、患者の眼前 12 mm に板付きレンズをかざし、検影法を行った。  
+5.00 D のレンズで中和した場合、患者の屈折値(D)はどれか。  
a +3.00    b +4.00    c +5.00    d +6.00    e +7.00
- 60 オルソケラトロジーの**禁忌**はどれか。  
a 高血圧    b 未成年者    c 近視度数-3.00 D  
d 暗所瞳孔径が大きな患者    e 角膜知覚の低下している患者
- 61 +3.00 D の遠視で調節力が 2.00 D であった。  
+5.00 D の近用眼鏡を装用した場合の遠点と近点はどれか。  
a 遠点 33 cm    近点 20 cm    b 遠点 50 cm    近点 25 cm    c 遠点 50 cm    近点 33 cm  
d 遠点 100 cm    近点 25 cm    e 遠点 100 cm    近点 33 cm
- 62 自覚的回旋斜視角の測定法はどれか。2つ選べ。  
a 眼底写真    b 大型弱視鏡    c Hess 赤緑試験  
d 交代プリズム遮閉試験    e Maddox double rods 試験
- 63 最も日常視に近い網膜対応視検査はどれか。  
a 残像検査    b 大型弱視鏡    c Worth4 灯検査  
d 位相差ハプロスコープ    e Bagolini 線条レンズ検査
- 64 小児への 1%シクロペントラート塩酸塩点眼の最も頻度が高い副作用はどれか。  
a 発熱    b 眠気    c 心悸亢進    d 顔面紅潮    e 嘔気・嘔吐
- 65 右眼の上斜筋麻痺の患者でみられるのはどれか。  
a 右眼の下斜視    b 右眼の内方回旋    c 右側への頭部傾斜  
d 左方視時で左眼の up-shoot    e 左下方視で左眼下直筋の過動
- 66 滑車神経麻痺で正しいのはどれか。  
a 回旋複視は生じない。    b 上斜筋麻痺と同義である。  
c 病変の同側にのみ生じる。    d 原因のほとんどは脳圧亢進である。  
e 相対的瞳孔求心路障害を伴えば中脳背側病変を疑う。
- 67 近視性不同視弱視で**誤っている**のはどれか。  
a 潜伏眼振を伴う。    b 眼軸長に左右差を認める。  
c 治療にアイパッチを用いる。    d 遠視性不同視弱視より予後が悪い。  
e 完全矯正眼鏡装用にて僚眼と比較して物体は小さく見える。
- 68 鼻梁の発達が不十分な小児の眼鏡処方を選択するテンプル・モダンの形状はどれか。2つ選べ。  
a 長手    b 半かけ    c ショート    d 2段曲がり    e 巻きつる式



- 79 原発閉塞隅角緑内障と前駆病変で誤っているのはどれか。
- 治療の第一選択は薬物治療である。
  - 相対的瞳孔ブロックが成因に関与していることが多い。
  - 器質的隅角閉塞の診断には動的隅角鏡検査が必要である。
  - 急性原発閉塞隅角症では、頭痛、眼痛、嘔気などがみられる。
  - 急性原発閉塞隅角症対側の狭隅角眼は予防的治療の適応である。
- 80 緑内障の薬物治療で正しいのはどれか。
- 配合点眼薬使用によりアドヒアランスの悪化が生じる。
  - 後期緑内障に対しては神経保護治療が第一選択である。
  - 点眼後は速やかな吸収を促進するため瞬目を推奨する。
  - 後期緑内障では OCT による進行判定に基づき薬物の増減を判断する。
  - ベースラインデータと危険因子を勘案して症例ごとに目標眼圧を設定する。
- 81 眼圧下降点眼薬のうち第一選択薬として使用できるのはどれか。2つ選べ。
- ドルゾラミド塩酸塩
  - プリモニジン酒石酸塩
  - カルテオロール塩酸塩
  - リパスジル塩酸塩水和物
  - オミデネバグ・イソプロピル
- 82 配合点眼薬を用いて2本にまとめて処方できるのはどれか。
- プリモニジン酒石酸塩, ドルゾラミド塩酸塩, ビマトプロスト
  - タフルプロスト, カルテオロール塩酸塩, プリモニジン酒石酸塩
  - オミデネバグ・イソプロピル, リパスジル塩酸塩水和物, プリンゾラミド
  - チモロールマレイン酸塩, プリモニジン酒石酸塩, ドルゾラミド塩酸塩, ラタノプロスト
  - リパスジル塩酸塩水和物, チモロールマレイン酸塩, プリモニジン酒石酸塩, ラタノプロスト
- 83 Schlemm 管より後方に房水流出抵抗の主座がある続発緑内障の原因疾患はどれか。2つ選べ。
- ステロイド緑内障
  - 海綿静脈洞血栓症
  - プラトー虹彩症候群
  - Sturge-Weber 症候群
  - 虹彩角膜内皮(ICE)症候群
- 84 レーザー線維柱帯形成術直後に生じる合併症はどれか。2つ選べ。
- 虹彩炎
  - 白内障
  - 眼圧上昇
  - 角膜内皮障害
  - 周辺虹彩前癒着
- 85 線維柱帯切除術後のレーザー切糸術による合併症はどれか。2つ選べ。
- 結膜穿孔
  - 眼圧上昇
  - 前房出血
  - 脈絡膜剝離
  - 角膜内皮障害
- 86 眼外傷にみられる所見の中で早期手術が必要なものはどれか。2つ選べ。
- 黄斑円孔
  - 虹彩脱出
  - 鋸状縁断裂
  - 脈絡膜破裂
  - 毛様体解離
- 87 外傷性散瞳で正しいのはどれか。
- 周辺虹彩切除術で生じる。
  - 房水主流出路障害が生じる。
  - 間接対光反射は陰性である。
  - 瞳孔散大筋の緊張が原因である。
  - ピロカルピン塩酸塩点眼によって縮瞳する。
- 88 治療用コンタクトレンズが有効な疾患はどれか。2つ選べ。
- 角膜穿孔
  - 角膜内皮炎
  - 再発性角膜びらん
  - 円錐角膜の急性水腫
  - アカントアメーバ角膜炎
- 89 -9.00 D のコンタクトレンズで完全矯正されているとき、眼鏡での完全矯正に変更する場合の球面度数(D)はどれか。
- 8.00
  - 9.00
  - 9.50
  - 10.00
  - 11.00

- 90 主要な眼障害としてぶどう膜炎が生じる抗がん剤はどれか。  
 a シタラビン(キロサイド<sup>®</sup>)      b ニボルマブ(オプジーボ<sup>®</sup>)      c ゲフィチニブ(イレッサ<sup>®</sup>)  
 d バクリタキセル(タキソール<sup>®</sup>)      e タモキシフェンクエン酸塩(ノルバデックス<sup>®</sup>)
- 91 結膜嚢常在菌はどれか。2つ選べ。  
 a 緑膿菌      b 肺炎球菌      c 表皮ブドウ球菌      d インフルエンザ菌      e コリネバクテリウム
- 92 白内障術後遅発性眼内炎の起炎菌で最も多いのはどれか。  
 a *Streptococcus* spp.      b *Cutibacterium acnes*      c *Enterococcus faecalis*  
 d *Staphylococcus aureus*      e coagulase-negative *Staphylococci*
- 93 PA・ヨード点眼・洗眼液で正しいのはどれか。  
 a 希釈後は常温で保存する。      b 眼瞼皮膚の殺菌には無効である。  
 c 角膜上皮ヘルペスに有効である。      d 適所であれば7日以上保存が可能である。  
 e オキシグルタチオン溶液で希釈して使用する。
- 94 羊膜移植術の適応と**ならない**疾患はどれか。  
 a 角膜穿孔      b 再発翼状片      c 眼類天疱瘡      d 水疱性角膜症      e 細菌性角膜潰瘍
- 95 疾患と術式の組合せで**誤っている**のはどれか。  
 a 眼瞼下垂———挙筋短縮術  
 b 眼瞼内反症———Jones法  
 c 甲状腺眼症———眼窩減圧術  
 d 眼瞼外反症———眼輪筋短縮術  
 e 鼻涙管閉塞———涙嚢鼻腔吻合術
- 96 正常角膜におけるスペキュラマイクروسコピーの測定結果はどれか。  
 a 滴状角膜の存在      b 変動係数(CV): 0.3      c 平均細胞面積: 600  $\mu\text{m}^2$   
 d 六角形細胞出現率: 30%      e 角膜内皮細胞密度(CD): 500/ $\text{mm}^2$
- 97 緑内障と治療の組合せで正しいのはどれか。  
 a 初期の落屑緑内障———低侵襲緑内障手術による流出路再建術  
 b 初期の原発開放隅角緑内障———毛様体破壊術  
 c 隅角結節を伴うぶどう膜炎続発緑内障———線維柱帯切開術  
 d プラトー虹彩に伴う原発閉塞隅角緑内障———周辺虹彩切除術  
 e 周辺虹彩前癒着を伴うぶどう膜炎続発緑内障———隅角癒着解離術
- 98 線維柱帯切開術(眼内法)の術後合併症で頻度が高いのはどれか。2つ選べ。  
 a 浅前房      b 前房出血      c 脈絡膜剝離      d 角膜内皮障害      e 一過性眼圧上昇
- 99 液体パーフルオロカーボンで**浮上させられない**のはどれか。  
 a 水晶体      b ガラス      c アクリル眼内レンズ  
 d シリコン眼内レンズ      e ポリメチルメタクリレート眼内レンズ
- 100 網膜に対して毒性がある薬剤はどれか。2つ選べ。  
 a ブリリアントブルーG      b インドシアニングリーン      c フルオレセインナトリウム  
 d トリアムシノロンアセトニド      e 組織プラスミノーゲンアクチベーター